

平成25年度 第2回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成25年 9月 9日(月) 13:00~15:00
場 所 百周年中村記念館 特別会議室

開 会

- 議長挨拶
- 欠席者等の案内
- 平成25年度第1回議事要旨の確認

〔審議事項〕

- (1) 給与改定等について
- (2) 第2期における自己点検・評価, 外部評価, 第三者評価についての基本方針(案)

〔報告事項〕

- (1) 国立大学のミッションの再定義について
- (2) 平成26年度大学院改組計画について
- (3) 平成26年度概算要求について
- (4) MSSCシンポジウムの開催について

〔その他〕

- (1) 平成25年度経営協議会 開催日程

議長謝辞

閉 会

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成25年度第2回）

1. **日 時** 平成25年9月9日（月）13:00～14:40
2. **場 所** 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 特別会議室
3. **出席者** 工藤委員，古賀委員，高原委員，豊川委員，成清委員，
藤井委員（五十音順）
学長，理事（教育・情報担当），理事（研究・産学連携担当），
理事（労務・財務担当），副学長（経営戦略担当），
情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. **列席者** 監事（教育・研究担当），監事（経営・財務担当）
副学長（学生担当），副学長（国際担当），
学長特別補佐（広報担当），学長特別補佐（評価担当）
5. **議長挨拶**
議長から，開会にあたり挨拶があった。
6. **会議成立**
構成員18名のところ，13名の出席により定足数を満たしていることが確認された。
7. **議事録の確認**
平成25年度第1回経営協議会（平成25年6月18日）の議事要旨についての確認
について説明があり，了承された。
8. **審議事項**
 - (1) **給与改定等について**
学長より，平成25年度人事院勧告による給与等の概要及び改正について，今後過
半数代表者，組合との協議のうえ進めていく旨説明があり，審議の結果，了承された。
 - (2) **第2期における自己点検・評価，外部評価，第三者評価についての
基本方針（案）**
学長より，研究・社会貢献に関する外部評価，国際交流に関する第三者評価，委員
会組織等に関する自己点検・評価を実施することで，第2期における取組の進捗状況
把握や改善点の洗い出し等を行うことについて説明があり，以下のような意見等があ
った。
(○：学外委員，△：学内委員)
○： 研究・社会貢献に関する外部評価について，各研究分野の有識者とはどのよ
うな方々を集めて評価を行うのか。
△： 過去の実績により，各主たる研究分野の方から1名ずつ出席いただくことを
考えている。
○： 第1期に実施した暫定評価が第2期では廃止されたことにより，大学の自己

努力が進められているが、文科省等では評価の縮小化が見受けられるので、実施の際には多忙にならないように簡素・合理化を進めていただきたい。

- △： 大学としても新たに調査することは出来る限り避けたいと考えているので、現在蓄積しているデータを活用・分析しながら実行していきたい。
- ： 外部評価，自己点検・評価について，どのような形で何を柱として実施していくのかイメージを教えてください。
- △： 外部評価に関しては，大学の活動が独り善がりにならないよう外部の意見を聞きながら，組織として取り組んでいきたい。
自己点検・評価は自己努力なので，現在の問題点を抽出して大学業務が，より合理化できるように議論したい。
- ： 教員によっては研究により補助金を獲得し，大学がロイヤリティーを受け取っているが，評価の中では大きな評価となっているのか。
- △： 研究の中では，論文発表などの活動，外部資金の獲得，知的財産の確保などは，評価としての大きなウェイトを占めている。

以上の意見等を踏まえ，了承された。

9. 報告事項

(1) 国立大学のミッションの再定義について

学長より，文科省の大学改革実行プランにある「国立大学のミッションの再定義」を文科省との意見交換を繰り返して最終的に提出したことについて報告があった。

なお，次のような意見等があった。

(○：学外委員)

- ： 資料の作成にあたり，学外に公表するようなものは，文言によっては大学にとってマイナスイメージになる場合があるので，注意していただきたい。

(2) 平成26年度大学院改組計画について

理事（教育・情報担当）より，平成26年度の3部局大学院改組について，文科省の大学設置・学校法人審議会承認されたことについて報告があった。

なお，情報工学部の編入学定員の減員については，平成27年度に向けて文科省と交渉中である旨説明があった。

(3) 平成26年度概算要求について

学長及び理事（労務・財務担当）より，平成26年度予算の概算要求にあたっての基本方針，及び国立大学改革強化推進補助金の概要について説明があり，補助金については概ね承諾をいただいております。今後折衝を行っていく旨報告があった。

なお，次のような意見等があった。

(○：学外委員，△：学内委員)

- ： 「英語のみ大学院コース設置」とはどのようなものか。
- △： 英語のみで修了できるコースのことで，現在では工学府の宇宙国際コースの

みが実施しているが、今後は順次増やしていきたい。

- ： グローバル・コンピテンシーの育成として、リベラルアーツが大事になってきており、理工系出身者は物事を分析することは得意であるが、それをアブストラクトする文系的なところが不得意である。
- △： 本学においてもリベラルアーツが大事であると意識しており、学生全員に対してどう対応していくか検討している。
- △： 本学の寮では、グローバル教育として週に1回英語教育、リベラルアーツの教育として月に1回程度社会的な教養を身に着けるため講義を行っており、本学の目指すグローバルリーダーの育成を行っている。
- △： グローバル人材の育成として、英語だけではなく基礎力の強化が必要であり、今後はカリキュラムの中に盛り込みつつ、学生にも目標をもって勉強できるような環境づくりを行っていきたい。

(4) MSSCシンポジウムの開催について

副学長（国際担当）より、9月30日（月）及び10月1日（火）にマレーシアプトラ大学で開催される「MSSC開設記念式典」及び「国際シンポジウム」の開催について報告があった。

10. その他

(1) 平成25年度経営協議会 開催日程

学長より、次回の開催日程について説明があり、戸畑キャンパスにて行う旨、報告があった。